

## 新型コロナウイルス対応緊急支援助成 事業計画（実行団体）

事業名（主）	コロナ禍で困窮する子どもの学習支援
事業名（副）※任意	ハイリスクエリアでの貧困及び外国にルーツを持つ子どもへの支援

実行団体名	特定非営利活動法人キッズドア
資金分配団体名	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

### 優先的に解決すべき社会の諸課題

	領域		分野
☑	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	☑	経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
		☑	日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
		☐	社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
☐	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	☐	働くことが困難な人への支援
		☐	社会的孤立や差別の解消に向けた支援
☐	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	☐	地域の働く場づくりの支援
		☐	安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他団体として解決したいと考えている社会の課題	☐	(50字程度)
-------------------------------	---	---------

実施時期	2020年 10月 ～ 2021年 9月
事業対象地域	☐ 全国 ☑ 特定地域（東京都江戸川区・足立区）
事業対象者 （事業で直接支援する対象者と、その他最終受益者を含む）	① 江戸川区の貧困家庭およびコロナで家計が急変した家庭の子ども（中学生～高校生） ② 足立区および近隣エリアの外国にルーツをもつ子ども（小学生、中学生の学齢）及びその保護者。 教育相談支援対象者は教育を受ける本人及びその保護者とする。
事業対象者人数（想定）	120人（江戸川区学習支援 80人、足立区子どもおよび保護者 40人）

### I. 団体の社会的役割

(1)申請団体の目的
<p>特定非営利活動法人キッズドアは、企業、行政、NPO、地域市民等の多様なステークホルダーと積極的に協働し、経済的格差、地域間格差、多国籍等文化の差異、ジェンダーギャップ、精神的身体的障害等様々な困難な状況にある子どもたちおよび子育て家庭に対して、直接的支援を行うとともに、広報啓発、調査研究、アドボカシー等の社会基盤を構築する活動を実施し、すべての子どもたちが夢や希望を持てる社会の実現に寄与することを目的としている。</p>
(2)申請団体の概要・事業内容等
<p>当団体は貧困によって起こる教育格差に取り組むために、学力が低く学習習慣が身につけていない小学生から高校生までを対象に、無料学習会や居場所の運営を行っている。2019年度は、76箇所の拠点での登録生徒数は1960名、登録ボランティア数1048名、実施回数は4705回である。この他、経済的余裕がない家庭の子どもたちに社会経験のチャンスを設け、四季に応じたイベントや自然体験ツアー、職場体験などのキャリア教育も行っている。</p>

## II. 事業の背景・社会課題

### 新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題

日本では、コロナ禍以前から子どもの貧困率が高く、およそ7人に1人が貧困、特にひとり親家庭では二人に1人は貧困であった。多くは非正規雇用の子育て家庭であり、コロナの影響で、失職し、大幅な減収に陥る家庭が増えている。弊団体が5月に行なった調査でも、困窮子育て家庭では7割の収入が減っており、失職した方も1割弱であった。

現状、政府の支援も子育て家庭には手薄であり、特別定額給付金やひとり親世帯臨時特別給付金では全く足りず、衣食住に不安を感じる子育て家庭が多い。また3月から5月の長期休校では、家庭でオンライン学習ができるか、そもそも家庭に勉強スペースがあるか、保護者が子どもの勉強を見られるか、など家庭の状況で学力に大きな差がついている。困窮世帯では、塾などに通わせることができず、途方にくれている状態である。特に、弊団体が事業を展開している足立区、江戸川区は貧困率が高いエリアである。

江戸川区は、昨年度まで弊団体が委託事業として小～高校生まで589名に学習支援を行っていたが、区の方針で今年度は学習支援事業は、学校の放課後支援事業となり、ほぼ全ての学習支援事業がなくなった状況である。弊団体にも区にも多くの区民から「学習支援は今年はないのか?」という問い合わせがあり、特に塾に行かせる余裕のない中学3年生の家庭からは高校受験をどのように乗り越えればいいのか、途方に暮れているという声が多く寄せられている。

また、足立区では弊団体も中高生の学習支援や居場所事業を行うなど子どもの貧困対策が充実しているが、外国にルーツをもつ子ども達は、コロナ禍前からの課題とコロナ禍後の課題で二重の困難を受け、就学や進学がさらに困難となり、貧困の連鎖が断ち切れない状況になりつつある。日本語指導に加えて、行政と連携しての家庭の支援などの加えて手厚い支援が必要である。

## III. 事業内容

### (1) 事業の概要

#### 1) キッズドア無料学習会 in 江戸川

会場：グリーンパレス江戸川内貸会議室

対象：江戸川区在住の中学生、高校生（塾などに通うのが難しいご家庭）

開催日時：毎週月曜日 16時30分～20時30分、毎週土曜日 15時～19時

内容：学習支援スタッフ（アルバイト及びボランティア）による学習指導、定期テスト対策、高校受験支援、大学受験支援および体験活動、**食事支援**

#### 2) 外国にルーツのある子ども及び家庭への支援 in 足立

会場：キッズドア・リライン（借上物件：足立区竹の塚2-17-15）

対象：外国にルーツを持ち困難な状況にある6～18歳およびその保護者

開催日時：毎週水曜日・土曜日 10時～19時（3部制）

内容：日本語教師資格保持者による日本語指導、日本の学校での勉強（宿題、テスト対策等）のサポート、教育相談その他生活相談

### (2) 事業実施後（1年後）以降に目標とする状態

- ・2020年度の江戸川区学習会に通った中学3年生が、全員高校に進学できている。
- ・江戸川区の困窮家庭の中高生が2021年度も学習支援を受けられる  
（江戸川区委託事業または民間助成事業で2021年度も継続できる）
- ・足立区の外国にルーツをもつ子どもが小学校及び中学校で必要な日本語を習得し、就学・進学している

### (3) 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）

#### <江戸川事業>

1. 江戸川区の困窮家庭の中高生のべ1600人以上が感染予防が徹底した会場で学習会に参加できる（4時間×152回）
2. 高校受験指導を受け高校に合格する
3. 子どもの学力低下の不安が解消する。保護者には必要に応じて多文化共生へ通訳を依頼し、保護者の話を正確に聞き取り、不安を解消する。
4. **子どもが抱える栄養に関する不安が解消する。**
5. **子どもの視野を広げる。将来の選択肢を増やし、勉強へのモチベーションを上げる。**

	<p>&lt;足立事業&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外国にルーツを持つ子どもの日本語能力が向上する</li> <li>2. 外国にルーツをもつ子どもの就学率及び進学率が増加する</li> <li>3. 外国にルーツを持つ子どもの保護者の庭支援について、関係機関と連携し、必要な支援につなげ保護者が学校からの書類を読み、手続きができるなどの自立度を高める。</li> <li>4. <b>子どもの視野を広げる。将来の選択肢を増やし、勉強へのモチベーションを上げる。</b></li> </ol>
実施・到達状況の目安とする指標	<p>&lt;江戸川事業&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 毎回の学習会の参加者数、 2-1. 中学3年生の高校進学率</li> <li>3-1. 無料学習会の満足度、 <b>4-1. 食の支援に関する満足度、 5-1. イベントへの参加者数</b></li> </ol> <p>&lt;足立事業&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 日本語能力のレベルおよび漢字の獲得状況（各レベルに応じた漢字の獲得）</li> <li>2-1. 不登校の学校復帰率、 2-2. 進学率</li> <li>3-1. 保護者が学校の通知内容、就学及び進学の手続き方法を理解し、自ら手続きをする</li> <li>4-1. <b>イベントへの参加者数</b></li> </ol>
把握方法	<p>&lt;江戸川事業&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 参加者名簿の作成、 2-1. 高校受験の志望校および可否の把握</li> <li>3-1. 生徒、保護者へのアンケート調査、 <b>4-1. 生徒へのアンケート調査</b></li> <li>5-1. <b>参加者名簿の作成</b></li> </ol> <p>&lt;足立事業&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 日本語テスト、 2-1, 2-2. 所児童の進路結果を本人・保護者面談を通して確認</li> <li>3-1. 子どもと保護者へ聞き取り、 <b>4-1. 参加者名簿の作成</b></li> </ol>
目標値/目標状態	<p>&lt;江戸川事業&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 毎回の学習会の参加者数 20人以上、 2-1. 中学3年生の高校進学率 100%</li> <li>3-1. 無料学習会の満足度 80%以上（子ども、保護者ともに）</li> <li>4-1. <b>実施内容に関する質問に対し、80%以上が“満足”と回答</b></li> <li>5-1. <b>参加者延べ数が40人</b></li> </ol> <p>&lt;足立事業&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 日本語能力が就学できるレベルまでに向上する（各レベルに応じた漢字の獲得）</li> <li>2-1. 本事業に参加する外国にルーツをもつ子どもうち不登校生徒の50%が学校に戻る。</li> <li>2-2. 本事業に参加するの外国にルーツもつ子どもの進学率100%。</li> <li>3-1. 保護者が学校の通知内容、就学及び進学の手続き方法を理解し、自ら手続きを進める。</li> <li>4-1. <b>参加者延べ数が160人</b></li> </ol>
目標達成時期	<p>&lt;江戸川事業&gt; 2021年3月末（進学）、2021年9月末（のべ参加者数、学習会満足度）</p> <p>&lt;足立事業&gt; 2021年3月末（進学）、2021年9月末（就学）</p>

(4)活動	時期
E1.学習会スタッフ&ボランティア研修（随時実施）	2020年10月-2021年9月
E1.キッズドア学習会 in 江戸川 2020 開始	2020年10月-2021年3月
E1.キッズドア学習会 in 江戸川 2021 開始	2021年4月-2021年9月
<b>E1.教育費の補助</b>	<b>2021年8月-2021年9月</b>
<b>E2.食事・食品提供</b>	<b>2021年8月-2021年9月</b>
<b>E3.外部イベントへの参加（ワークショップ等）</b>	<b>2021年8月-2021年9月</b>
A1. 足立日本語学習支援（初級日本語・やさしい日本語で教科学習）	2020年10月-2021年9月

A1. 学習教材の開発（漢字のルビ振り、動画教材作成）	2020年10月-2021年9月
A1 日本語学習支援者育成研修	2020年10月-2021年9月
A2. 生活・教育相談支援（学校通知、今後の進路に向けての計画、手続き、授業料免除、生活に関する相談に応じる）	2020年10月-2021年9月
A2. 食事・食品提供	2020年10月-2021年9月
A3. 外部イベントへの参加（ワークショップ等）	2021年8月-2021年9月

(5) 事業の今後の展開（今後、団体が目指す事業展開）
<p>コロナ禍による不況は数年は継続する見通しであり、江戸川区での学習支援事業も継続できるよう、行政に働きかけるとともに、地域の団体などを巻き込み無料学習会が地域の中で広がることを目指す。また、今後外国にルーツを持つ子どもの割合が増えていくと見込まれる中、昨年政府が「日本語教育推進法」を成立させ、自治体や地域関係者の積極的な協働を呼びかけている。外国にルーツを持つ子どもの支援事業を拡充するとともに、当団体の他の学習支援でも、外国にルーツを持つ子どもの支援の質をあげる。</p>

(6) 日々の事業実施や組織運営において子どもの安心・安全をどのように確保していますか？ （子どものセーフガーディングの取り組みなど）
<p>当団体は子どものセーフガーディングとして、安心・安全な環境づくりのための以下の3つのルールをスタッフに徹底して行っている。</p> <p>1. 学習会や居場所での安全確保 2. 情報管理上の安全確保 3. 子どもの精神的な安全確保</p>

(7) 子どもへの支援活動を行う際に、団体として、留意・心がけているポイント。（活動における子どもの役割など）
<p>当団体は子ども支援に当たり、以下6つの心構えをスタッフに徹底している。</p> <p>1. 安全・安心できる場所の提供、2. 子どもたちのおかれた背景に配慮した寄り添った支援、3. 自分が得意なことやスキルを積極的に活かした行動をすること、4. 仲間と対等な立場で協力関係を築き意見交換し、子どもに最適な支援を心がけること、5. 子どもから得た情報を仲間に共有し支援に繋げること、6. 子ども達が受け入れてもらえる喜びを感じてもらうこと</p>

#### IV. 事業実施体制

(1)メンバー構成と各メンバーの役割	<p>本事業統括責任者：今井（キッズドア事業部長・兼務）          &lt;江戸川事業&gt;          責任者：高橋（キッズドア江戸川事業責任者・兼務）          スタッフ：太田（キッズドア江戸川事業担当・兼務）          アルバイト：6～10名          ボランティア：数名（感染予防対策のため厳選、最低限の人数のみ）          &lt;足立事業&gt;          責任者：今井（キッズドア事業部長・兼務）          主任：広本（キッズドア職員・専任）外国にルーツをもつ子ども支援事業の主担当          学習指導者：星野・宍倉（キッズドア職員・兼務）日本語及び教科の学習支援</p>
(2)他団体との連携体制	<p>・江戸川区、江戸川区共育プラザや、江戸川こども食堂ネットワークに生徒募集などの告知協力          ・足立区、区内の小中学校及び地域の日本語ボランティア教室に事業の情報を共有し、連携を図る          ・セカンドハーベストジャパン、ライオンズクラブ、ロータリークラブ等：おやつや軽食の提供</p>
(3)想定されるリスクと管理体制	<p>再度、緊急事態宣言が発出された場合、江戸川事業、足立事業ともオンラインで学習支援を行う。LINEなど困窮家庭や外国人家庭でも利用しやすいコミュニケーションツールで情報提供を行う体制をとる。動画による教材準備及びオンラインでの保護者登録を行う。</p>

## V.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無		
コロナウイルス感染症に係る事業		
① 本申請事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動している(予定も含む)	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し	「有り」の場合その詳細
③ 本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない。	<input checked="" type="checkbox"/> 無し	※有の場合、選定の対象外となります。 (公募要領：助成方針参照)
(2)申請事業に関連する調査研究、連携の実績		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年 8 月 子どもの貧困解決に向けて 教育格差の要因分析と貧困の連鎖を断ち切る学習支援方法の研究開発にかかる調査支援 報告書： 代表研究者（特活）キッズドア共同研究者 お茶の水女子大学 耳塚寛明</li> <li>・企業や他団体と連携して体験活動やワークショップの実施：2019 年 200 企業・団体</li> </ul>		